

◆ スタッフ

センター長 戸田山和久

専門領域：科学技術社会論
 電話：052-789-5694, 4874
 メール：todayama@cshe.nagoya-u.ac.jp

専任教授 夏目 達也

専門領域：高等教育学、技術・職業教育論
 電話：052-789-5693
 メール：natsume@cshe.nagoya-u.ac.jp

専任准教授 近田 政博

専門領域：比較高等教育学、大学院教育
 電話：052-789-5692
 メール：chikada@cshe.nagoya-u.ac.jp

専任准教授 中井 俊樹

専門領域：大学教授法、高等教育マネジメント
 電話：052-789-5385
 メール：nakai@cshe.nagoya-u.ac.jp

専任助教 齋藤 芳子

専門領域：科学技術政策、科学技術社会論
 電話：052-789-5384
 メール：saitoh@cshe.nagoya-u.ac.jp

特任講師 安田淳一郎

専門領域：物理教育、素粒子物理学
 メール：yasuda@cshe.nagoya-u.ac.jp

研究員 久保田祐歌

専門領域：哲学教育、西洋哲学
 メール：kubota@cshe.nagoya-u.ac.jp

客員教授 施 曙光 (中国・北京大学)

2008年4月～2008年8月

客員教授 ショディ・ナイキスト (米国・ワシントン大学)

2008年9月～2008年11月

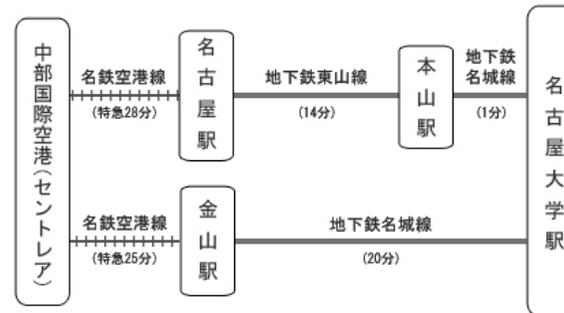
客員教授 佐藤 浩章 (愛媛大学)

客員教授 米澤 彰純 (東北大学)

客員教授 舘 昭 (桜美林大学)

名古屋大学 高等教育研究センター

Center for the Studies of Higher Education, Nagoya University



地下鉄名城線「名古屋大学」駅1番出口徒歩2分
 名古屋大学東山キャンパス 文系総合館5階

〒464-8601 名古屋市中種区不老町 B4-5(100)

電話 052-789-5696
 ファックス052-789-5695

http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/
 info@cshe.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学 高等教育研究センター

2008

CENTER FOR THE
 STUDIES OF
 HIGHER
 EDUCATION
 NAGOYA UNIVERSITY



本センターは「国際的な視野のもとに高等教育機関の戦略的課題の解決に貢献する」をミッションとして、1998年4月に設置されました。

高等教育に関する専門的・実践的研究をもとに、

- ◇ 各種資料刊行・ツール開発等による教育改善支援
- ◇ 名古屋大学における企画・立案・評価への支援
- ◇ 世界的文脈からの大学改革に資する知見の提供

などを行っています。

これらにより、高等教育機関の質の向上に取り組み、高等教育研究の拠点となることを目指しています。

◆ 研究領域

教授法開発
授業支援
教育改善のためのトレーニングプログラム開発
初年次教育・学習支援
大学院教育・学生支援
研究推進・研究支援
アウトリーチ
高等教育政策・学術政策

など

◆ 定期刊行物

『名古屋高等教育研究』

世界のスタンダードを意識しながら名古屋大学コミュニティに貢献する方針を掲げた年刊学術誌です（査読付）。

『かわらばん』

年4回発行する新聞形式のニュースレター。大学教育に関するオピニオン、最新情報などを掲載しています。名古屋大学の教職員全員に配布しています。

『FRIENDS』

年1回発行するメール形式の英語版ニュースレターです。

◆ 名古屋大学における支援活動

セミナー・ワークショップ・講演の開催、冊子の提供、ウェブページへの情報掲載、各種イベントの実施などを通じて、研究成果をはじめとする様々な情報の発信を行っています。

○ 授業改善プログラム&冊子

授業改善に必要な基礎的な知識・ノウハウを無理なく学べるトレーニングプログラムを開発しています。シラバス設計法、成績評価の方法、大学教授法の基礎などのプログラムを開発し、新任教員をはじめとする学内教員に提供しています。時間がない方のために、手軽に読めて、すぐに実行できるティップス集もあります。

○ 初年次教育・学習支援

『名古屋大学新入生のためのスタディティップス』を開発し、新入生全員に配布しています。本冊子の感想・改善点に関するアンケートをもとに改訂も行っていきます。

○ 学生論文コンテスト

学部学生を対象にした論文コンテストを実施しています。卒業論文を書く前から、アカデミックライティングに慣れ、また学術研究の楽しさを知ってもらおうという試みです。授業でのレポート課題との連携も可能です。

○ 大学院学生の支援プログラム

学生が大学院で身につけた知識や能力を社会に生かすことが求められています。将来大学教員として求められる知識・技能、専門家としてのコミュニケーション能力等を向上させるための各種支援プログラムを開発して提供しています。

上記のほか、ご希望に応じて、授業見学会、シラバス博覧会、メンター紹介などを実施しています。企画立案等に関する個別のご相談もお受けしています。

◆ 出版物

『成長するティップス先生』

本センターが開発したティーチングティップス（授業の秘訣集）です。本学の教師が日常の教育活動の中で出会う悩みの解決をサポートすべく、当センターではティップスの開発に力を注いできました。オンライン版と書籍版があります。

『ティップス先生からの7つの提案』

名古屋大学の学生・教員・大学組織がよりよい教育を実現するための提案と具体的なアイデアをまとめました。これまで教員編、大学編、学生編、IT活用授業編、教務学生担当職員編の5冊子を開発しています。さまざまな立場から、よりよい教育をめざして協力できるように工夫されています。

『ティップス先生のカリキュラムデザイン』

大学のカリキュラム開発がスムーズに展開されるよう、主要な論点を整理し、具体的な検討の視点や方法を提供しました。学部・学科のカリキュラム開発・改訂のプロジェクトにお役立てください。

『名古屋大学新入生のためのスタディティップス』

新入生のための学びのノウハウ集です。第1号「『学識ある市民』をめざして」では大学で学ぶことの意味を説明し、第2号「学問を始めよう!」では具体的な学習方法を紹介しました。教員や先輩学生からのアドバイスも盛り込んでいます。

『英語で教える秘訣』

英語で授業を担当することになった大学教員のための、実践的な場面別フレーズ集です。学生のよりよい学習成果をひきだすことに主眼をおき、授業における30の場面を設定し、留意点とすぐに使えるフレーズとを紹介しています。英語で授業をするために教員が編み出した秘訣や、失敗談などはコラムにまとめました。

研究開発プロジェクト報告書も刊行しています。成果物は当センターのWEBサイトにてご覧いただけます。